



MFJ SUPERBIKE
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2008 MFJ ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP Rd.5
SUPERBIKE RACE in SUZUKA



2008年 MFJ全日本ロードレース選手権第5戦 スーパーバイクレース in 鈴鹿

EXTRA, EXPERT AND EXTREME EXPRESS--



Photo by Y.Harada/H.Wakita(c)

2008 VOL.
5

韋駄天・秋吉がまたもコースレコードを更新! Race1・Race2のダブルウインを狙う!!



セカンドグリッドからは、中須賀克行(#21 YSP&PRESTOレーシング)がスタートする。



伊藤真一(#33 KEIHIN KoharaR.T.)は、フロントロウ3番手から決勝レースに臨む。

INFORMATION

往年の名車デモ走行〜改修直前スペシャルイベント開催!



1980年代から1990年代後半に活躍した名車によるデモ走行を実施。'84年「日本グランプリオートバイレース」GP500クラスで優勝した平忠彦さん(写真)ほか登場!!

- 日時: 9月7日(日) ピットウォーク時
- 場所: 国際レーシングコース
- 出演: 平 忠彦さん('84 YAMAHA YZR500)
宮城 光さん('85 Honda NSR500)
鎌田 学さん('99 Honda NSR500)

※マシン/ライダー/コース等の状況により、変更・中止の場合があります。

TIME TABLE

※タイムテーブルは変更されることがあります。

10:30 -	ST600 コースイン〜選手紹介	
10:45 -	ST600決勝レース	12Laps
11:30 -	JSB1000 Race1 コースイン〜選手紹介	
11:45 -	JSB1000 Race1決勝レース	15Laps
12:40 - 13:40	ピットウォーク	
14:00 -	GP125 コースイン〜選手紹介	
14:15 -	GP125決勝レース	12Laps
15:00 -	JSB1000 Race2 コースイン〜選手紹介	
15:15 -	JSB1000 Race2決勝レース	15Laps
16:05 -	GP250 コースイン〜選手紹介	
16:20 -	GP250決勝レース	12Laps
17:30 -	※レース終了後〜サーキットクルージング(2輪体験走行)	

QUALIFYING PRACTICE REPORT

予想外に路面温度が上昇した公式予選 タイトルを争う上でも重要な一戦



ボールシッターインタビューで。(左から)GP125浪平伊織、JSB1000秋吉耕佑、ST600野田弘樹、GP250宇井開一。
決勝日は、秋晴れという予報。レース日中の決勝レースで、各クラスともどのようなレースが展開されるのか、注目してほしい。



POLE POSITION 秋吉耕佑 2'07.295

『はっきり言って、本当は6秒半ばのタイムを狙っていた。アベレージタイムは出ているし、無理はしていない。自分としては、朝だったとか、暑かったとか、コンディションに左右されないマシンづくりを目指しているの、そういった意味ではまだまだ物足りない部分はある。スタッフも頑張ってくれたんだけど、違う問題が発生してしまった。自分の目指すイメージにできれば、もっと速く走れるんじゃないかな。レースの作戦は特に考えていない。その時の状況に応じたレースができれば、表彰台の真ん中には立つ自信はある。』



●予選日:天候/晴 路面/ドライ
●決勝レース Race 1 コースイン/11:30 スタート/11:45(15周)
Race 2 コースイン/15:00 スタート/15:15(15周)

第5戦鈴鹿は、タイトルを狙うライダーにとって特に重要な戦いとなる。第4戦終了時で暫定ランキングトップに立っているのは山口辰也、1ポイント差で酒井大作、5ポイント差で中須賀克行がつけられている。4番手以降は10ポイント以上の差があるが、2レース制となる鈴鹿ラウンドは、最大50ポイントも獲得できるだけに、一気に順位が入れ替わる可能性がある。

前戦とは打って変わり高温多湿となった今回。金曜日の午前は局地的な大雨に見舞われ、午後はウエットパッチの残る中でのセッションとなっていたこともあり、土曜日にも不安定な天候になることが予想されていた。しかし、公式予選は夜半まで降っていた雨の影響もありレインコンディションで始まったものの、徐々に路面は乾き、GP-MONOクラス以外はドライコンディションでタイムアタックが繰り返された。

52台が出走し、2グループに分かれて行われたJSB1000クラス。予選1回目から気温は上昇し、特に



6番グリッド/#87 柳川 明 TEAM GREEN

Bグループでは鈴鹿8耐を思わせるほどの蒸し暑さとなった。その影響からセッション開始直後からアクシデントが発生した。今回が復帰戦となる安田毅史がMCシケインでシフトダウンした際、ニュートラルに入ってしまうと転倒。その直後を走っていた手島雄介が巻き込まれ左手の中指のつけ根と薬指を骨折してしまう。その直後に柳川明がスプーンカーブで、さらに酒井大作もMCシケイン立ち上がりで転倒とアクシデントが続発する。手島は全治1カ月となり残念ながら今回は欠場を余儀なくされてしまう。酒井も肩甲骨を骨折したが、決勝には出場する予定だ。

ポールポジションを獲得したのは、事前テストでは2分7秒台で連続ラップを記録していたという秋吉耕佑だった。路面温度が47度まで上がった予選2回目に2分7秒台を2周連続で記録。その2周目に2分7秒295というニューレコードをマーク。このタイムは2番手に約1秒もの差をつける圧倒的なものだったが、秋吉本人は不満顔。「いま一つ攻めきれなかった。自分の感覚では2分6秒台の真ん中までは出せると思っていたからね。もちろん決勝は2レースとも勝つつもりで臨むよ」と自信をのぞかせる。秋吉は、今季3度目のポールポジション。今回のコースレコード更新で、全日本ロードレースが開催されている6サーキットのうち、5つのコースレコードホルダーとなった。

2番手につけた中須賀克行は予選2回目にヘアピンで転倒するもののライダーもマシンも無傷、得意の鈴鹿で巻き返しを狙う。

〔予選2回目は) ユーズドタイヤで走っていましたが



4番グリッド/#2 安田 毅史 急募.com HARC-PRO

フィーリングがよかったんですが攻めすぎてしまいました。決勝は2レースともスタートダッシュをかけていきたいですね」と中須賀。3番手に予選2回目の終了間際にタイムアタックに入った伊藤真一がつけ、フロントロウを確保した。2列目に安田毅史、山口辰也、柳川明、3列目に徳留和樹、酒井大作、大崎誠之という予選結果となった。

BABIE'S Racing デイライトから全日本に復帰した森脇尚護は16番手、9年ぶりの全日本となる武石伸也は18番手につけた。

夏の暑さが戻ってきた鈴鹿サーキット。決勝日も晴れマークだけに暑い一日となりそうだ。もちろん暑いバトルも多いに期待できる。高いアベレージスピードを見せる秋吉が逃げることはできるか? 中須賀、伊藤が秋吉に絡むことができるか??? そしてタイトル争いの行方は???? 見どころ盛りだくさんの2レース制の鈴鹿ラウンドは、間もなくスタート!

〔佐藤 寿宏〕

KOTOBUKI'S EYE

帰ってきた“やっさん”。
今季初レースは!?

開幕戦の金曜日に転倒し負傷、さらに復帰戦となった鈴鹿8耐でも公式予選で転倒しケガを負っていた安田毅史が、やっと全日本ロードレースに帰ってきた。2年連続でST600クラスチャンピオンを獲り、昨年はJSB1000クラス、1年目ながらランキング2位となった。安田にとって、今シーズンはチャンピオンを狙はずだったが、その思いとは裏腹に、ここまで一度もレースをできていなかった。

「この位置(4番手グリッド)にいられるとは思わなかったし、少しはボクのことを思い出してもらえかな。レースでは、いつも観客の皆さんの心に残るような走りをしたと思っています」と安田。
今シーズン初レースに臨む“やっさん”が、どんな走りを見せてくれるか注目したい。



JSB1000 CLASS STARTING GRID

1	2'07.295 64 秋吉 耕佑 ヨシムラスキwithJOMO	2	2'08.178 21 中須賀 克行 YSP&PRESTOLレーシング	3	2'08.897 33 伊藤 真一 KEIHINKoharaR.T.
2	2'09.111 2 安田 毅史 急募.com HARC-PRO.	4	2'09.117 19 山口 辰也 モリワキMOTULレーシング	5	2'09.203 87 柳川明 TEAM GREEN
3	2'09.343 11 徳留 和樹 DREAM HondaRT11	7	2'09.481 39 酒井 大作 ヨシムラスキwithデンソー	8	2'09.571 75 大崎 誠之 SP忠男レーシングチーム
4	2'09.724 26 辻村 猛 F.C.C.TSR	10	2'09.793 81 佐藤 裕児 ワイズギアレーシング	11	2'10.305 62 横江 竜司 RT森のくまさん佐藤塾
5	2'10.310 15 今野 由寛 PLOT FARO パンテラー	13	2'10.560 5 電谷 長純 Team 桜井ホンダ	14	2'10.952 13 波多野 祐樹 MotoMap SUPPLY
6	2'11.022 54 森脇 尚護 BABIE'S Racing デイライト	16	2'11.113 44 児玉 勇太 ウイダー-D.D.BOYS	17	2'12.072 51 武石 伸也 TRICK☆STAR
7	2'12.152 18 奥田 貴哉 チームOSG&モトスポーツ	19	2'12.267 52 森井 威綱 Honda鈴鹿レーシングチーム	20	2'13.268 57 石川 朋之 Team angela
8	2'13.362 16 津田 一磨 Team 桜井ホンダ	22	2'13.426 24 東村 伊佐三 RS-ITOH&KAZE	23	2'13.459 25 本田 晃司 TEAM Z-TECH&KM監
9	2'13.758 45 西嶋 修 BEET LUMIX RACING	25	2'14.140 49 高橋 孝臣 MOTO BUM HONDA	26	2'14.216 31 古川 力也 HONDA浜友会浜松エスカルゴ
10	2'14.594 22 山中 正之 ホンダ Q選抜 明和レーシング	28	2'14.644 42 宇佐見 保弘 チーム・エッチングファクトリー	29	2'15.135 43 竹見 升吾 チーム・エッチングファクトリー
11	2'15.182 221 深見 貴広 クレバーウルフレージング	31	2'15.225 37 磯谷 晋一 WOLFMAN&SAMTECH	32	2'15.534 23 鈴木 慎吾 MOTO WIN RACING
12	2'15.647 76 北口 浩二 Pacific Diner Service NALT	34	2'16.193 46 矢野 大輔 Pacific Diner Service NALT	35	2'16.268 56 清水 郁巳 DREAM高崎B'WISE R.T
13	2'16.491 97 飯田 将人 ホンダ浜友会浜松エスカルゴ	37	2'16.852 88 野崎 俊宏 DREAM北九州・TEAMLIFE	38	2'16.857 112 栗林剛 Honda EGLレーシング
14	2'17.021 704 中村 知雅 中村エンジン研究所	40	2'17.314 72 山田 直樹 TEAM Z-TECH	39	2'17.321 59 山戸 直樹 Team38 PS-K
15	2'18.501 82 吉田 光弘 Honda緑陽会熊本レーシング	43	2'18.551 53 西脇 卓也 Team GTMM	41	

GP125 youth CUP に注目しよう! もう勢いだけじゃない!? めきめきと成長するティーンズライダー!

17歳以下(登録時)の選手を対象にGP125クラスに設定されている「youthCUP」にエントリーしているライダーの活躍が、後半戦で一気に勢いを増している。

日浦大治朗(14)は前戦SUGOで今季2度目の表彰台に上がり、ポイントランキングでも現在ランキング3位。また、渡辺一馬(18)は同大会で全日本初優勝を獲得し、ランキング5位に浮上した。

今大会の予選でも、渡辺が3番手、日浦大治朗が4番手、尾野弘樹(16)が5番手、大金佑輝(15)が7番手と、「youthCUP」ライダーの多くが上位につけている。金曜日に行われたA.R.T.合同走行(練習走行)でトップタイムをマークした大久保光(15)にも注目だ。

めざましく成長するティーンズライダーたち。決勝での活躍にも期待しよう!



●予選日: 天候/曇~晴 路面/ウェット~ドライ
●決勝コースイン/10:30 スタート/10:45(12周)

POLE POSITION INTERVIEW

ストップ・ザ・小西に燃える 野田弘樹が2戦連続P.P. タイトル王手の小西は6番手



POLE POSITION 野田 弘樹 2'16.813

「ポールポジションは今日のような不安定な路面の中でもベストを尽くした結果だと思う。Honda勢が上位にいるので、決勝は自分としてはやりやすいと思うが、タイムも競っているし、どれだけ離せるか分からない。とにかく、ストップ・ザ・#1(小西)! ボクが勝って止めたい。最終戦岡山までは時間もあるし、転倒を恐れずに思い切ってイケるだけいこうと思う。去年の鈴鹿のように自分でレースを引っ張って、今度こそ2位の壁を破りたいですね」

ST600 予選結果

Pos No.	Name	Time	Team
1	4 野田 弘樹	2'16.813	テルル・ハニービーレーシング
2	7 岩田 悟	2'16.849	F.C.C.TSR
3	2 高橋 英倫	2'17.687	TEAM GREEN
4	73 小林 龍太	2'16.880	急募.com HARC-PRO.
5	72 宮崎 敦	2'17.834	TEAM DAYTONA GIVI
6	1 小西 良輝	2'17.112	急募.com HARC-PRO.
7	18 高橋 江紀	2'17.945	KEIHINKoharaR.T.
8	55 國川 浩道	2'17.491	DyDo MIU Racing
9	83 須貝 義行	2'18.155	チームドゥカティレーシングジャパン
10	77 出口 修	2'17.518	DyDo MIU Racing
11	43 生形 秀之	2'18.166	エスパルスドリームレーシング
12	23 津田 拓也	2'17.753	チームOSG&モトスポーツ
13	76 清水 直樹	2'18.401	RS-ITOH&KAZE
14	33 菊田 庄平	2'18.096	RS-ITOH&KAZE
15	21 中山 真太郎	2'19.081	KoharaRC
16	10 稲垣 誠	2'18.289	バーニングブラッドRT
17	5 武田 雄一	2'19.093	HITMAN RC甲子園ヤマハ
18	8 寺本 幸司	2'18.302	PLOT FARO パンテラー
19	24 大木 崇行	2'19.223	club HARC-PRO.
20	70 佐竹 隆幸	2'18.763	チームOSG&モトスポーツ
21	19 大石 正彦	2'19.392	伊藤RACING・GMDスズカ
22	13 泉本 真宏	2'18.844	RT森のくまさん佐藤塾
23	42 岡崎 晋也	2'19.960	TeamGTMM ATOMIC
24	14 森 新	2'18.958	CLUB HARC-PRO.
25	705 黒川 武彦	2'20.831	松本クリニックガレージスピード
26	64 和田 憲史郎	2'20.145	VEGA&Z-TECH★KM II
27	40 中西 豊	2'20.967	立秋モーターズ&RC甲子園
28	39 新庄 雅浩	2'20.229	MotoMap SUPPLY
29	59 佐藤 友之	2'21.620	RT森のくまさん 佐藤塾
30	91 シルバダニエル	2'20.745	DanielRacing
31	60 古畑 博志	2'21.762	レーシングチームハニービー
32	29 行方 知基	2'20.990	MotoMap SUPPLY
33	539 高田 昌明	2'21.819	RSR+539soko
34	37 松本 正幸	2'21.182	TeamGTMMマーカー
35	47 小田 茂野	2'21.949	エスパルスドリームレーシング
36	41 村上 雅彦	2'21.940	南海部品広島島
37	65 小菅 岳大	2'22.198	CLUB HARC-PRO.
38	66 木本 康隆	2'21.961	木原康装withRSC
39	32 須藤 貞仁	2'22.209	H.M.F. Verity
40	44 斎藤 一輝	2'21.963	ウイングシイRC
41	38 中山 英樹	2'22.496	DOG FIGHT RACING
42	35 谷正明	2'22.223	WEST POWER&AW谷屋
43	45 石本 大河	2'22.638	GENIUS
44	52 増田 雄亮	2'22.371	Honda鈴鹿レーシングチーム

●予選:天候/曇 路面/ドライ
●決勝コースイン/14:00 スタート/14:15(12周)

POLE POSITION INTERVIEW

浪平伊織がホームコースで全日本初ポールをGET!



POLE POSITION 浪平 伊織 2'20.937

『金曜日の練習走行ではトラブルで走れないセッションもあったけれど、チームの地元で走り込んだコースだし、何とかまとまってきた。予選ではメカニックが頑張ってくれてバイクを仕上げてくださいまして感謝しています。初ポールポジションなので、素直にうれしいですね。スタートまでは威張れるし(笑)。レースは集団になると思う。その中でトップグループにいて、最終ラップに勝負できるようにしたい。チームのホームコースなので、優勝できるように頑張ります』

GP125 予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	11	浪平 伊織	2'20.937	Honda鈴鹿レーシングチーム
2	8	菊池 寛幸	2'21.062	F.C.C.TSR
3	16	渡辺 一馬	2'21.083	TEAM PLUS ONE
4	46	日浦 大治朗	2'21.424	Team NOBBY
5	14	尾野 弘樹	2'21.449	BATTLE FACTORY
6	4	仲城 英幸	2'21.605	Team Projectμ FRS
7	37	大金 亮太	2'22.014	ENDURANCE & 橋川塾
8	7	山田 亮太	2'22.045	TEAM PLUS ONE
9	2	徳留 真紀	2'22.092	チーム テック・2
10	1	岩田 裕臣	2'22.222	DyDo MiU Racing
11	21	東 幸寛	2'22.263	TeamAZUMA+sonic
12	15	吉市 右京	2'22.372	TEAM ASPIRATION
13	10	竹内 吉弘	2'22.414	プロマチックAIMS&YUE
14	22	矢作 雄馬	2'22.420	橋川塾&ENDURANCE
15	56	山本 剛大	2'22.666	Team NOBBY
16	78	大久保 光	2'22.751	橋川塾&ENDURANCE
17	6	柳沢 祐一	2'22.776	18 GARAGE RACING TEAM
18	34	日浦 徹	2'22.942	Team NOBBY
19	31	花房 一樹	2'23.299	チーム テック・2
20	61	今中 清	2'23.962	team RISKY
21	50	尾野 都司	2'24.101	BATTLE FACTORY
22	64	萩原 洋	2'24.179	チーム KOHSAKA
23	32	川瀬 啓一郎	2'24.251	チーム KOHSAKA
24	51	藤井 謙汰	2'24.400	F.C.C.TSR
25	28	天野 邦博	2'24.482	Honda狭山レーシングチーム
26	39	榎藤 俊光	2'24.508	BATTLE FACTORY
27	33	村田 憲彦	2'24.617	CLUBBY's☆J-OFFICE
28	91	森 俊也	2'25.000	racing sayama
29	40	岩田 吉正	2'25.022	BATTLE FACTORY
30	73	小室 旭	2'25.121	SQUAREプロジェクトハルク
31	81	山田 誓己	2'25.225	伊藤RACING-GMDスズカ
32	87	清原 颯道	2'25.748	KoharaR+T+イメック
33	25	長谷川 稔	2'25.774	team RISKY
34	75	松村 偉人	2'25.838	KTR&ENDURANCE
35	30	谷 健二郎	2'26.439	teamF.C.C-MCTS
36	44	福島 宏幸	2'26.478	team RISKY
37	52	大塚 浩二	2'26.580	team RISKY
38	41	沖藤 陽一	2'26.658	オートテックニクススポーツ48会
39	72	鎌田 信	2'26.845	ENDURANCE+橋川スポーツランド
40	71	毛利 雅己	2'28.111	チーム KOHSAKA
41	63	石崎 司也	2'28.848	KTR&たかた農園
42	38	須藤 竜之助	2'30.454	青空racingライドスポーツ
43	88	太田 達也	2'30.650	TEAMLIFE&R.P.WITH ドリーム北九州
44	24	中村 貴紀	2'31.034	TEAM LIFE-DREAM北九州

●予選:天候/晴 路面/ドライ
●決勝コースイン/16:05 スタート/16:20(12周)

POLE POSITION INTERVIEW

2ストローク泣かせ高温多湿の悪コンディション 宇井陽一が今季2度目のP.P.



POLE POSITION 宇井 陽一 2'13.584

『今回のコンディション(湿度)は、2ストバイクにとって、すごく悪い条件だった。バイクは走らないし、全体的にタイムが遅いのはそこに原因がある。アクセルを開けられるところは全開でいくんだけど、何をやっても走らない。ガソリンが燃えずにパワーが出ない感じ。走り始めは、鈴鹿8耐で走ったJSBの癖が出てしまって困った。その結果のポールポジションなので、ラッキーかな。朝のウォームアップ走行でまだいろいろ試してみんだけど、条件次第では決勝はどうなるか予想がつかないですね』

GP250 予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	41	宇井 陽一	2'13.584	SEV.spruce/PRO-TEC
2	2	高橋 巧	2'13.646	バーニングブラッドRT
3	56	山崎 都	2'14.313	HITMAN RC甲子園ヤマハ
4	5	濱本 裕基	2'14.358	SP忠男レーシングチーム
5	32	関口 太郎	2'14.458	Henkel プラスミー
6	7	秋谷 守	2'15.370	チーム モトベース
7	3	及川 誠人	2'15.786	WILL-ACCESS&SJR
8	11	渡辺 一樹	2'16.308	RT森のくまさん佐藤塾
9	12	伊藤 勇樹	2'17.158	DOG FIGHT RACING
10	93	遠藤 卓実	2'17.392	SEV.spruce/PRO-TEC
11	46	星野 知也	2'17.426	WINJACK&4413
12	48	富沢 祥也	2'17.531	TeamProjectμFRS
13	24	水野 那由太	2'18.566	テック2レーシング
14	76	柴原 誠	2'19.388	k-max racing
15	10	及川 玲	2'19.698	ベンタグラム& 藤岡&M-Racing
16	14	中本 都	2'19.924	RT-OUTRUNwithASS
17	19	小口 理	2'20.840	ALLMAN&OWR小口歯科
18	33	辻林 憲一	2'20.925	チーム モトベース
19	21	福山 京太	2'21.079	Team Danke Racing
20	53	久保山 正朗	2'21.207	HONDA浜友会浜松エスカルゴ
21	22	小口 直	2'21.713	ALLMAN&OWRACING
22	75	高杉 奈緒子	2'21.752	DREAM高崎B'WISE RT

●予選・決勝開催日:9月6日(土)
●天候/路面 予選(曇/ウェット) 決勝(晴/ドライ)
●決勝レース/10周

RACE RESULT

“自分の走り”を取り戻した小室旭 鮮やかな逆転勝ち!!



ホールショットを中木亮輔が奪い、乃村康友、小室旭の3台がトップグループを形成、後続を引き離す。レース序盤から激しいバトルが続く、トップ争いは最終ラップまでもつれ込んだ。レース終盤には一時、離された小室旭だったが、最終ラップのカシオライオンへのブレーキングで2台のインに飛び込み、一気に2台をパス。トップでチェッカーを受け、今季初参戦のGP-MONOを見事制した。2位の乃村と3位の中木は100分の6秒という僅差でゴールした。

その後ろでは、山下祐、森隆嘉、長島哲太に、レース中盤に追いついた藤井謙汰が加わり、4位争いを展開していたが、8周目に集団から抜け出した藤井に軍配が上がった。

WINNER 優勝/小室 旭 (写真左から二人目)

『トップ争いから遠ざかっていたので、決勝前はこういった走りができるか不安があった。ミスもあって離れたときは焦ったけれど、自分の速いところをきっちり走って追いつくことができました。ここで終わったら僕も悔いまだし(最後のカシオライオンは)思い切って躊躇なく飛び込みました。今回GP-MONOに出たのは、本田社長が“もう一度、バイクをいじめ倒すようなレースをしてこい”とチャンスくれたから。125の決勝でも自分の持っている力をすべて出したい』

GP-MONO 決勝レース結果

Pos	No.	Rider	Team	Laps	Time
1	73	小室 旭	SQUAREプロジェクトハルク	10	24'29.307
2	3	乃村 康友	モリワキクラブ	10	24'29.588
3	2	中木 亮輔	モリワキクラブ	10	24'29.650
4	51	藤井 謙汰	F.C.C.TSR	10	24'36.268
5	11	山下 祐	テック2レーシング	10	24'38.633
6	1	森隆嘉	TEAM PLUS ONE	10	24'38.980
7	45	長島 哲太	TeamProjectμFRS	10	24'39.191
8	21	小畑 仁	MOTO WIN RACING	10	24'54.619
9	12	伊藤 公一	FACTOR&横井ENG	10	24'54.949
10	80	高瀬 敬次	マックウェスタン KSL	10	24'55.043
11	26	谷川 壮洋	TEAM PLUS ONE	10	24'55.500
12	71	林達也	team.A.A.O&MOTOBUM	10	24'57.144
13	8	山本 晃大	M-KID'S	10	25'04.137
14	151	吉道 竜也	レーシングチームハニービー	10	25'04.972
15	34	山田 俊樹	バーニングブラッドRT	10	25'05.002
16	95	瀬古 直樹	ZIPBIKE&TOS-R	10	25'11.595
17	52	川村 明	MOTO WIN RACING	10	25'14.898
18	19	江崎屋 学	IS.P.CC/プリミティブRT	10	25'17.234
19	18	比企 竜	DyDo MiU Jr.	10	25'19.601
20	38	井岡 正裕	SRニマム関和TUNE	10	25'19.777
21	44	貝崎 主典	バーニングブラッドRT	10	25'20.584
22	66	福垣 徹	バーニングJr.&アケノスピード	10	25'21.274
23	25	N 橋元 晃一	Garage130R&Jr's	10	25'23.023
24	48	根市 拓歩	18 GARAGE RACING TEAM	10	25'23.365
25	16	赤間 清	CLUB HARC-PRO.	10	25'23.652
26	43	増田 颯也	クラブM+橋川塾+瀬RT	10	25'34.408
27	47	伴雄介	チームトルウイング	10	25'53.864
28	49	坪川 清明	propman.jp長谷川鉄筋	10	26'03.780
29	20	三好 菜摘	クラブプラスワン&rsp	10	26'18.732
30	78	N 松井 俊純	Jr's Club	10	26'20.181
31	56	N 伊藤 淳	HRF&RH松島	10	26'20.685
32	54	N 岩本 有司	MMF-銀色バイク-Kfb	10	26'20.787
33	39	N 大西 善之	三真製作所&ヤマカゼ大西タイヤ	10	26'25.768

以上 規定周回数完走:
46 N 高橋 哲也 ウイニングラン 6 16'48.227
9 I 岡田 義治 K&LJAPAN-RH松島 2 6'58.055
40 I 畑中 要 FTR・タイヤナビ・Big☆教 出走せず

Fastest Lap:
#2/中木 亮輔 モリワキクラブ 2'25.867 9/10 143.66km/h
規定周回数 7
※I=国際ライセンス N=国内ライセンス